

## 感染研市民セミナー(第33回)

「くらしに役立つ病気の知識」

### 23価肺炎球菌ワクチン:65歳からの肺炎予防対策

国立感染症研究所(村山庁舎)では、毎日を健康に明るく過ごすための情報を、分かりやすく提供する市民公開セミナー「くらしに役立つ病気の知識」をシリーズで開催しています。

肺炎はわが国における死因の第3位であり、高齢者で肺炎による死亡率は急激に増加します。肺炎球菌は成人の肺炎の20~40%を占める重要な原因菌です。お年寄りではインフルエンザの後にしばしば肺炎球菌による肺炎を起こします。23価肺炎球菌ポリサッカライドワクチン(23価肺炎球菌ワクチン)は、1回の接種で、血液中に肺炎球菌を殺菌するための抗体をつくります。2014年10月からこの23価肺炎球菌ワクチンが65歳以上の方を対象として定期接種ワクチンとなります。冬を迎える前には、インフルエンザワクチンと一緒に23価肺炎球菌ワクチンを接種しましょう。

皆さま、お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

講師:大石 和徳(感染症疫学センター長)

(質問コーナーもあります。)

日時:平成26年8月9日(土)

10:00~11:15(受付は9時半より)

場所:国立感染症研究所村山庁舎

参加費:無料(申し込み不要)

お問い合わせ

東京都武蔵村山市学園4丁目7番1号

国立感染症研究所村山庁舎

TEL: 042-561-0771

FAX: 042-565-3315

